

使い捨て手袋の取り扱いは適切に!

要注意

手袋過信は
事故のもと

汚れた手が
手袋表面を
汚染

手袋を
介して
食品に!

着用前は(交換時も) 衛生的な手洗い

手袋を着ける際に手指が汚れていると、手袋表面を汚染させてしまい、手袋を介して汚染が広がります。



洗って



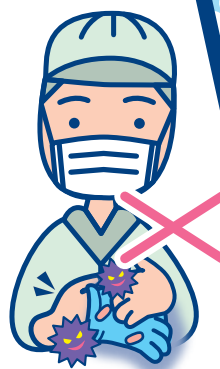
ふいて



消毒

再着用しない

着脱時に手指が食中毒原因菌等で汚染を受ける可能性があります。
再着用せず、使い捨てに!



定期的な交換

同じ手袋を長時間着けっぱなしにしない! 作業内容や作業の変わり目に交換しましょう。



使い捨て手袋を着けていれば大丈夫でしょうか?

使い方を誤ったり、着用していることを過信したりすることで、手袋が汚染源となる食中毒が発生する可能性があります。

使い捨て手袋の衛生的な取り扱い方について詳しくはこちら

